Rotary International District 2570

GOVERNOR's MONTHLY LETTER

Peace Through Service
Sakuji Tanaka
Rotary International President 2012-13

熱意を持って訴えたのだろうか？
使命感を持って訴えたのだろうか？

地区事業委員長
新井　啓介（行田さくら）

社会奉仕部門委員長
木藤　文雄（坂戸）

クラブ支援委員長
小久保　富夫（新狭山）

1st March, 2013 Vol.9

識字率向上月間

国際ロータリー第2570地区　2012～2013年度
ガバナー月信 2013年3月1日 第9号
RID 2570 SAITAMA / JAPAN いいね ふくよ

■ガバナーメッセージ

鈴木　秀憲

高校生の使命感を知る

先日、インターアクトクラブ次期指導者講習会へ出席しました。地区内７校から37名が参加し、我々ロータリアンも20名近くが参加し総勢60名近くになりました。

開会セレモニーに続いてインターアクトについての基礎知識の講演を聞き、その後インターアクトの歌の練習では、正智深谷高校の井上先生の指導の下、生徒は勿論我々ロータリアンも、何回も大声を張り上げて練習し何とか歌えるまでになりました。

午後は、生徒と顧問教師が別々の部屋に分かれて、それぞれの問題点や進むべき方向等について真剣に協議しました。

生徒の部会では、身近な「家庭や家族」の重要性を考える事から始まり、個人の誠実性或いは他人に対しての思いやり、建設的指導力等について純粋な気持ちで真剣に話し合い、地域社会や国際平和にまで思いを馳せ、それぞれのインターアクトクラブにおける使命についても論じあっていました。

一方、顧問教師の部会へ我々ロータリアンも議論に加わり、インターアクトクラブに対する日頃の活動支援等に積極的な意見交換がなされました。顧問教師の感想では「今日ほど突っ込んだ意見交換は過去には無かった」との事でした。

この生徒達の真摯な態度や先生方の熱心な意見交換を聴かせて頂いて、生徒も先生方も、それぞれが自分達の使命感を持って参加されていると心から感じました。

随分以前には、地区内の多くのロータリークラブがインターアクトの提唱クラブとして活動していました。しかし、いつのまにか「学校が熱心でない、参加生徒がいない」等の理由で、自然消滅してしまった現状を鑑みるに、果たして我々ロータリアンがインターアクトクラブ活動の有用性について、熱意を持って学校や生徒たちへ訴えたのだろうか？　使命感を持って訴えたのだろうか？大いに疑問を持ちました。

昨日の生徒達の熱心な態度、そして「何か他人のためになる事を行いたい」という純粋な気持ちを知るにつけ、我々の熱意が足りなかったのでは？と、私自身反省させられました。

埼玉県・前島富雄教育長より頂いた感謝状

さて話は変わりますが、昨年実施された、ロータリーが行っている高校生社会体験活動支援に対して、過日県教育長から感謝状を、県知事から感謝の言葉を頂きました。

この高校生社会体験活動は、取り組んだ当初は高校生の中途退学を防止するという目的であったと伺いました。しかし、この感謝状受賞に先んじて行われた社会体験活動に関する意見交換会へ出席し、活動に参加した生徒、送りだした先生やご父兄のお話を伺ってみたところ、中途退学の防止というどちらかと言えば消極的な動機から始まった活動が、「仕事をする大切さを知った」、「人生の厳しさを知った」、「自分の進むべき道が見えてきた」、「親に感謝する気持ちが出てきた」等々の前向きな成果が得られるようになったとの事でした。

インターアクト活動支援と言い、高校生社会活動支援と言い、ロータリーが大変素晴らしい活動を行っている事を認識すると共に、何よりも嬉しかった事は、「高校生がそれぞれの活動において使命感を持って活動し、その結果大きな成果を得る事が出来た」と実感してくれた事です。

私達も、ロータリー活動に使命感を持って積極的に参加しましょう。必ずや良い成果を得られる事でしょう。まさにいい風が吹くことでしょう。

■識字率向上（1）

ヒマラヤの麓の村に本庄の学校を創ろう！

本庄 RC　国際奉仕部門副委員長　**茂木　正**

平成24年11月5日本庄RCのメンバー5名とその賛同者を乗せた飛行機は朝の成田を発ちました。タイのバンコック経由でネパールの首都カトマンズに降り、そのまま国内便の小さな飛行機に乗り換え、インドとの国境の近くのポカラ市に無事降り立ったのは６日の夕方でした。

本庄RCでは数年前から学校建設の話が持ち上がり、書き損じはがきの資金の一部や会員、市民からの浄財によって建設資金が出来ました。建設着工から約１年ようやく本庄市の冠名の付いた学校が出来上がり、８日に現地で開校式典出席のためメンバー有志がネパールに向かう事になりました。

村で唯一の平らな場所で開校式典

訪問団10名を乗せたマイクロバスは、牛や人でごった返す雑踏を抜けてお釈迦様生誕の地ルンビニを経由し、TANSENという８千メートル

学校の前で。OK バジ垣見さん、職員と訪問団

のヒマラヤを仰ぎ見る小さな町にたどり着きました。そこからはもうマイクロバスでは入れません。四輪駆動車に分乗し山岳道路をもうもうと土埃をあげて走ります。運転を誤れば千尋の谷底へ、といった道を走る事約４時間、車はここまで。そこからは徒歩でのみ行ける道です。村からは青年達が私達の到着を待って荷物を全て背負ってくれます。空身で千尋の谷を左に見ながら下り、遠くの尾根の彼方に目指す村が見えるまで、歩く事約１時間、息が上がる頃やっと村に到着。

寄付金の贈呈

尾根伝いに建てられた村は約300戸、学校は村で唯一の平らな土地に建てられています。校庭を少し外れると崖下には雲の下まで段々畑が延びています。

遠くには、今自分達が歩いて来た細い道が山の斜面を横切って尾根まで伸びています。見るとまだ学校が出来上がっていません。

開校式典には子供たちと婦人会の方々も

ホームステイ先の民家の庭で夕食を頂く

様子を尋ねると、今年の雨季は雨が多く村への唯一の道は崩落して、砂や資材が運べず学校建設が遅れてしまったとの事。そう言えば来る途中の断崖絶壁の道が修復された跡がありました。村人が50キロの建設資材を背負ってあの道をここまで運んでいたのです。

ヒマラヤの夕暮れは早く、早々に泊めて頂く民家へと案内されました。懐中電灯の光で頂く夕餉にはロキシーというドブロクを頂き、降るような満天の星空のもと民家へ泊めて頂きました。

翌日の開校式典は多くの学童と保護者が集まり、日本から持って行った市長からの友好市の証、本庄市の案内書、大きなダルマ、寄付金の贈呈と進みました。嬉しそうな校長先生と父兄をよそに、子どもたちは長い挨拶と式典に疲れ切ってしまいましたが、日本からのお土産の文房具を沢山の子どもたちに配ると、大騒ぎになりました。

やっと騒ぎの収まった村を去る時間には、子供達は村外れまで送ってくれ、姿が小さくなるまで手を振って別れを惜しんでくれましたが、私達は来る時に下った細い道を尾根の上まで登るのに精一杯でした。

車の入らないヒマラヤの奥地の小さな村、そんな村に私達の学校を作る事が出来た。それは感謝されることとはいえ、自分たちの自身の感動と共に、奉仕というロータリーの本質の一端に触れる事を体験できた貴重な日々でした。

次号では岡部RC井上会長の「書き損じはがきの集め方」をレポート頂きます。

■第５グループ IM

埼玉こそ我が産土（うぶすな）

第５グループ IM 実行委員長　**大川　隆史**（熊谷）

第５グループのIMは、２月２日（土）ホテルガーデンパレス熊谷に於いて開催されました。220名余りの沢山のロータリアンが出席し成功裡のうちに終始することができました。

御来賓として、富岡清熊谷市長、木島一也商工会議所会頭、更には、鈴木ガバナー、野中弘之パストガバナー、そして各部門委員長の皆様にご多用の中ご臨席を賜り、錦上に華を添えて頂きました。

当日は素晴らしい晴天に恵まれました。暦に照らすと今回のIMの翌日は節分、翌々日は立春となります。気候が一気に暦通りに春めいた気配でありました。

実行委員長にとりましては、この「贈り物の様な晴天」は第５グループのIMを祝福していてくれているように思えてなりませんでした。

IMの開催意義は、近隣クラブが合同に会し、情報交換及び親睦を深めるのが目的と理解しております。これに従い、グループのロータリアンが会場において十分に交流をし、相互理解を深め親睦をしていただけることを願って企画運営をいたしましたのは言うまでもありません。

前嶋ガバナー補佐

記念講演は、「埼玉こそ我が産土である」と語られている俳人の金子兜太先生にご依頼申し上げました。

金子兜太先生は大正８年（1919）埼玉生まれ。93歳です。旧制熊谷中学卒、東京帝大在学中に加藤楸邨主宰の「寒雷」に投句。昭和25年三人句集「鼎」を出版。昭和30年句集「少年」刊行。翌年37歳で現代俳句協会賞を受賞。この頃より俳句専念を期す。昭和53年埼玉県文化賞受賞。昭和61年より朝日俳壇選者。平成６年75歳で勲四等旭日小綬章受章。平成15年日本芸術院賞受賞。17年日本芸術院会員。文化功労者。そして今なお俳句専念の直中にあります。熊谷に在住され、熊谷

鈴木秀憲ガバナー

富岡清熊谷市長

金子兜太先生

優秀作品に選出された清水孝男会員（行田さくらRC）と

市名誉市民です。経歴を伺うと近寄りがたい賢人であるのは疑いの余地もありません。しかし、お会いすると、俳人らしい朴訥とした風貌を装っておられますが、知性溢れる眼光の中に心の温かさを感じさせ、何人をも迎い入れてくれる優しさがあるように感じてなりませんでした。先生は現在93歳にして極めて健在であられます。

講演は「北埼玉の産土（うぶすな）」というテーマで行われました。産土とは、自分の生まれた土地、原点、守護神のことを表すことをご教授頂きました。講演では、大変興味深い心に残るお話を聞かせて頂くことができました。産土を知るとは、つまりは故郷を大切にすることであり、それは自らを大切にすることであり同時に他人に思いやりを持つことであると知りました。このことは、ロータリーでいう「奉仕の理想」に通ずるものであると理解しました。

又、講演に因んで会員の皆様から俳句を募集致しましたのは楽しい試みでもありました。兼題として、二月の季語である「梅」、「梅の花」を題材に俳句を10クラブの皆さんから募集し、優秀作品については表彰させて頂きました。実際に総計72もの作品の提出を頂いたのは法外の驚きでありましたし、作品については金子兜太先生よりどれも素晴らしい作品であるとお褒めの言葉を頂きました。優秀作品には行田クラブ境野登章会員、熊谷籠原クラブ森田光彰会員、行田さくらクラブ清水孝男会員が選出されました。

ご応募頂いた皆さんにはこの紙面をお借りしてお礼を申し仕上げさせて頂きます。

講演の後の懇親会には会場一杯になるほどの皆さんが参加してくれました。JAZZ・QUARTETの演奏の中、和んだ雰囲気の中で更に親睦を深めて頂けたと事に感謝致します。

終わりに、各クラブがますます発展されますこと、また合わせて会員の皆様のご健康をご祈念申し上げてIMの報告と致します。

■第４グループ IM

奉仕を通じて仲間を拡大しよう！

第４グループ　ガバナー補佐　**梅澤　茂**（深谷ノース）

国際ロータリー第2570地区第４グループのIMは、２月４日の立春も過ぎた２月９日（土）に埼玉グランドホテル深谷にて、午後１時30分点鐘で式典が開催されました。深谷ノースRCの名誉会員でもあります、小島進深谷市長をはじめ、鈴木ガバナー、金子千侍パストガバナー、髙橋福八パストガバナー、加藤玄静パストガバナーの他、多数のご来賓と招待者、第４グループの地区役員の方々、会員の皆様がご多忙のところご参加頂き、盛大に開催されました。

式典では、IMの記念事業として、深谷市社会福祉協議会へ社会を明るくする活動を進めるために少しでも役立てて頂こうと、会員の皆様の浄財を寄贈致しました。また、第２部の協議会におきましては、グループ内のIMでは初めてと思われるRLI方式を取り入れて、各クラブの会長と会員増強委員長に参加して頂き、協議会を致しました。

ディスカッションの内容は本年度の田中作次RI会長のテーマであります『奉仕を通じて平和を（Peace Through Service）』と、鈴木ガバナーの地区テーマ『奉仕の追求（Pursuit Of Service）』、この２つのテーマを共有できるものは何かと考え詰めると、奉仕活動を実行するにはやはり『友人』が必要不可欠です。同じ志を持つ仲間が必要です。奉仕活動を大きくするには『増強』です。

これらを踏まえ、年度初めに第４グループのIMのテーマを『奉仕を通じて仲間を拡大しよう！』と決定致しました。

このテーマから協議会での協議テーマを、『会員増強』と、新会員増強時に必ず入会対象者から質問される『ロータリーって何』と言う、２つのテーマについて意見を交換することと致しました。

机を円卓に並べて発言者が座り、その周りを会員が取

アトラクション第一位に輝いた川本 RC

IM では初めて？　RLI 方式の会議

小島深谷市長と鈴木ガバナー

り囲むように会場を設定して、意見を聞く形式で協議会が行われました。このRLI方式で発言をして頂くことで、自クラブの会長、会員増強委員長の考え方が会員の皆様に自然に伝わってきました。又、選択肢も色々あることが分かりました。私達会員はこの協議会を機会に、より一層会員増強についてクラブ内でクラブ協議会を開催して意識を高めることが最重要課題であると認識しました。以前、会員増強セミナーに於いてロータリーが創立して16年目には早くもこの会員増強問題が指摘されていたと教えられました。今から92年も前のことです。いかに重要なことかと理解できます。

資料を調べましたら、当地区の25年前の1988年度の年初は、会員数2500名であり最も多い年が1992年の年初2853名です。2012年度の年初は1721名でスタートしております。この数字を見比べると改めて会員増強に全員で努力して新会員を増強し、クラブを活性化し、いい風を起こすことが必要です。私達はロータリーを心の絆と考えています。沢山の意見が出されて有意義な協議会となりました。加藤パストガバナーや鈴木ガバナーの講評も注目を引き、今後の活動の参考になるものと思いました。

又、この協議会の中で、７月1日から12月22日迄に新会員増強功労者を、IMにて表彰する旨を、年初の会長・幹事会にてお知らせ致しました。ガバナー補佐訪問に於いても『会員増強』にテーマを置き、お話をさせて頂きました。

そしてこのIM開催にあたり、新会員増強功労者は17名にも及び、その結果、新会員は18名になり協議会にてこの新会員功労者を発表し、記念品を贈呈致しました。一方、会員維持もクラブにとって重要な問題であることも意識しなければなりませんとお伝えしました。

第３部の懇親会では、第２回目の会長・幹事会に於いて、各クラブがアトラクションを出して発表して頂くことをお伝えしました。持ち時間は５分以内とし、単独の発表はなしにして複数の参加を奨励し、演技をする事と致しました。審査員は鈴木ガバナー、ガバナー補佐、各クラブ会長の13名で行い、審査基準も明確に審査するように３項目の基準を取り入れて実行しました。優勝は川本RC、２位は本庄RC、３位秩父RC、残りのクラブに参加賞を授与しました。

以上のように参加クラブを表彰しクラブ支援金を授与しました。このアトラクションに各クラブは年内より演目の選定をして、練習にクラブ会員と家族の方々が参加して活動していることが伝わってきました。１月に開催した会長・幹事会でもアトラクションに対して、その盛り上がり方がすごかったです。このような状況下のIMでありましたので、懇親会も大変盛り上がり時間の経つのもアッという間でした。

私は第４グループのIMが、旧知の絆を一層深め、また新しい友人を作る場として開催できたら何て素晴らしいだろうと思っておりました。新しい発見と、楽しむことと、友人を一人でも多く作ることがIMの本来の目的と理解しますから。

第４グループのIMはこのように大勢のロータリアンが参加し開催されました。報告の結びに、IM開催にあたりまして第４グループの会長・幹事さんの友情と熱意に感謝申し上げます。また、ご来賓の皆様、会員の皆様、そして会場を盛り上げて下さいました関係者の皆様に、主催者と致しまして心より皆様方のご健康とご多幸を、又貴クラブの益々のご発展をご祈念申し上げます。ありがとうございました。

■職業奉仕部門セミナー

生徒の成長が感じられたセミナー

職業奉仕部門委員長　**細井 保雄**（行田さくら）

日時：2013年2月3日（日）
13：30～16：30
会場：国立女性教育会館
出席：38クラブ、108名（会長・職業奉仕委員長・「我等の生業」寄稿者、地区役員）

職業奉仕部門委員会の２事業の内の１つは、昨年に引き続き「我等の生業」第２集の編纂でした。各クラブ様にお願いしましたところ、昨年よりも多い82名の寄稿を頂きました。寄せられた原稿は、何れも素晴らしい作品ばかりでした。また、もう１つの事業「高校生社会体験活動」では、多くのロータリアンの事業所に引き受けを頂くことができました。

第２回職業奉仕部門セミナーは２月３日（日）、嵐山町の国立女性教育会館で開催致しました。第１部では「我等の生業」に寄稿頂いた内容を、４人のロータリアンの皆様に代表として発表頂きました。

新狭山RCの東喜代雄会員は、学校法人石川学園狭山ひかり幼稚園を創設され43年になり、卒業生は2,200名を超えました。彼らは親となり保護者となって園に帰ってきます。現在でも家族ぐるみの交際が続いているそうです。「４つのテスト」は生きる信条であり目標であることをお話して頂きました。

東松山むさしRCの盛島美智子会員には、結婚、出産、歯科大学へ進学、子育てをしながら６年間の学生生活、卒業後大学院に進み４年間で博士号を取得、すぐに開業したこと、「医療はチーム医療である」こと、カルテは患者の情報ファイルであること、「４つのテスト」は職業上の倫理要綱であること等、お話して頂きました。

本庄RCの織田 裕之会員は、「不撓不屈」というテーマで、お父様の経営していた会社が倒産した後、連帯保証していた借金の返済、そして起業して賛光電器販売株式会社を営んでいることをお話して頂きました。

羽生RCの平野賢治会員は、株式会社「トレンディー」を経営されており、会社を取り巻く外部環境への対応や、歴史の変遷等のお話を頂きました。

第２部では、高校生社会体験活動の発表を頂きました。埼玉県教育局 学校部生徒指導課主事 田部井洋様からは「毎年成果が大きくなっている」との御礼のご挨拶を頂きました。担当教諭からは「生徒の成長には、学校生活だけでは体験できない活動や人との出会いが大切で、体験後、生徒は学校生活の大切さを理解し、意欲が増したことを感じます」とお話頂きました。

そして体験した生徒の１人からは、「担当の方に親切丁寧に指導頂いたおかげで、人と話すことが楽しくなり、以前より挨拶がしっかりできるようになった」との発表を頂きました。

「我等の生業」の発表は大変興味深く、また学ぶことができ、そして感動しました。高校生社会体験の発表では、生徒の成長が感じられ、この事業を行って大変に良かったと心から思いました。

東喜代雄会員（新狭山）

盛島美智子会員（東松山むさし）

織田裕之会員（本庄）

平野賢治会員（羽生）

■第2回公共イメージ委員会セミナー

広報活動が必要不可欠

公共イメージ委員長　**内山 明夫**（東松山むさし）

日時：2013年1月19日（土）
13：00～16：00
会場：ホテル紫雲閣（東松山市）
出席：43クラブ　55名（会長・会長エレクト・広報担当委員・地区役員）

1月19日(土)開催されましたクラブ奉仕部門「第２回公共イメージ委員会セミナー」で、鈴木ガバナーは、「ロータリーの公共イメージと認知度向上」が本年度RI戦略計画の重要項目であることが述べられました。

セミナー第一部では、山口クラブ奉仕部門委員長の「セミナー趣旨説明」に続き、マスコミやメディアに取り上げて頂くには、いかに地域や社会に受け入れられる公共性の高い奉仕活動が大切か！とのお話を私からさせて頂きました。

次に、西川地区研修リーダー自身が立ち上げ、読売新聞に掲載された「ロータリー希望の風奨学金」について、その社会性や公共性について詳しく説明をされ、又、マスコミに取り上げられることの重要性を講演して頂きました。

テーブルディスカッションでは６つのテーブルに分かれて、「上半期に実施した奉仕活動と広報活動」と「今後の活動計画について」の発表と意見交換を行い、第２部では、各テーブルの代表者が、その内容をまとめて発表しました。

各クラブがそれぞれ大変すばらしい奉仕活動と公共イメージの向上・認知度向上への取り組みを実践していることが分かり、私自身も大変勉強になりました。今回のセミナーが下半期活動の一助になれば大変喜ばしいことです。

■第２回新世代部門セミナー

目的は、奉仕と国際理解

新世代部門委員長　**坂本　元彦**（富士見）

1月19日(土)に第２回新世代部門セミナーを開催致しました。鈴木ガバナーより新世代部門は若者を育てる事を目的としているのでこの地区の伝統を絶やさず継続性を持ってやってもらいたいとのメッセージの後、新世代部門委員長として、部門の認知度の向上に頑張りたいとの挨拶、討議内容の説明を致しました。

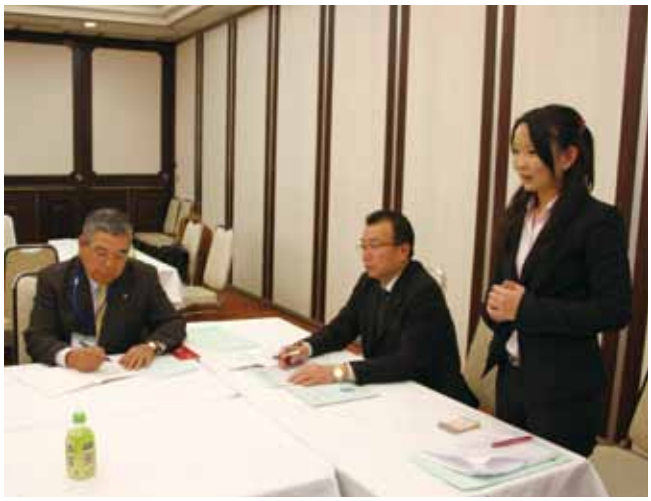
亀卦川誠也顧問教師会会長からは、活動の課題として、「学校において認知度が低い」、「他の部活動に隠れていて見えづらい」、「地域により温度差がある」、「公立校は転勤等がある」、「ローラリークラブとの連携、情報の共有が希薄である」などの問題点が指摘されました。

皆様での真剣な討議の結果、新世代部門のこれからの努力目標に浮び上った物の一つは「認知度が低い」事の改善であると思います。鈴木勲二諮問委員からの「効率化ばかりに目を向けすぎていないか」等の総評もあり、気は焦れども転ばぬように一歩一歩の歩みです。

会員の感想の中に、勉強になった、大変良かった、地区とクラブの距離が短くなった、もっとやって欲しい等の意見がありました。一人でもそのように感じて頂けたとすれば、幸いです。

日時：2013 年 1 月 19 日（土）13：30 ～ 16：45
会場：ホテル紫雲閣（東松山市）
出席：42 クラブ　60 名（地区新世代部門委員長、アクト委員長、青少年交換委員長、ライラ委員長、各委員会委員、ローテックス）

亀卦川インターアクト顧問教師会会長



会議の模様

新 ROTEX ３人組

この人にスポット！（Ⅱ）

83歳でロータリークラブに入会

加須 RC　**齋藤　武治**会員

今回は平成22年、83歳でロータリークラブに入会し、元気にロータリーライフを満喫されていると共に、ロータリアンとしての有るべき姿を指し示して頂いている齋藤武治会員（加須RC）にお話を伺ってまいりました。

―大変元気でよく通る声をお持ちですが、現在のお年をお聞かせ下さい

昭和２年生れで現在85歳になります。

―ロータリークラブに入会するまでの経歴を教えて下さい。

加須市に生まれ育ち電力会社に勤務し、技術系職や総合職として埼玉県内各地の行政機関や会社の変電設備の計画・設計・実施を行なって来ました。その時に経営者の皆様とお会いし、企業形態や経営理念など学ばせて頂いたことや、行政機関幹部の方や地域・商工団体の方々と交流させて頂いたことが今でも大きな財産になっています。関連会社を含めて62歳で会社勤めを終えてからは、技能センターで『電気工学概論』の講師を14年間勤め、若者と触れ合う日々を送って来ました。

一方で加須郷土史研究会（現在会員約230名）に入会し、見学部担当として20年間、年３回の県内外の寺社・史跡見学会を計70回運営し、現在は会長を務めております。

―ロータリークラブに入会した経緯をお聞かせ下さい。

電力会社で深谷所長を務めていた時、当時の商工会議所会頭がロータリークラブ会長をされており、そんな縁で何度か例会で卓話をさせて頂いたことがありました。その当時からロータリアンの方々の素晴らしさには感銘を受け好感を持っていましたが、この度、所属する趣味の会「親園会」会長（＝湯橋十善・加須ロータリークラブパスト会長）のお勧めをいただいて入会させて頂く事になりました。

―入会してロータリークラブに対して思う所をお聞かせ下さい。

加須ロータリークラブは老若多様なメンバーが和気あいあいとクラブを運営している素晴らしいクラブで、とても楽しく参加しております。現在私が最高齢ですが、高齢者の私が入会したことで、同世代会員の皆さんが、まだまだロータリークラブを頑張らなければいけないと、励みにしていらっしゃるようです。

―大変お元気でいらっしゃいますが、健康の秘訣は何ですか

加須市筋力アップトレーニング事業に参加し、毎日歩いています。平成23年、1年間に歩いた歩数の1日当たりの平均は12,663歩。距離にして8.9ｋｍ。時間にすると約100分です。おかげ様で62歳から20年間で20キロ痩せ、健康診断では体組成年齢が56歳と言われました。

―1年365日に歩いた距離の平均が8.9ｋｍですか、凄いですね。最後に今後の抱負をお聞かせ下さい。

先輩会員の皆様の背中をみて、さらに識見・行動・活性化を体得し、豊かな人生を仕上げて行きたいと思います。また年を重ねた背中を見て頂き『笑顔・暖かさ・優しさ・感謝（表現と言葉で）』をモットーに、我も他人も幸せになれるよう心がけて行きたいと思っています。

―今日は素晴らしいお話と生き方を伺い、どうもありがとうございました。私も齋藤会員のように年を重ねられれば良いなと思います。

インタビュアー：地区副幹事　五十幡和彦

お知らせ

2013年４月20日～28日、シカゴで開催される規定審議会に、当地区の規定審議会代表議員の鈴木勲二PG、補欠議員の石川嘉彦PGが都合により参加できなくなり、加藤玄静PGが鈴木ガバナーより代表議員として指名され、参加することになりました。

表　彰

メジャードナー

鈴木　秀憲
（吹上RC）

宮前　英雄
（皆野・長瀞RC）

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

戸谷　全克
（本庄南RC）

中嶌　清
（鶴ヶ島RC）

間中　康夫
（川越中央RC）

梅田　章夫
（川越中央RC）

相原　茂吉
（川越RC）

池袋　賢一
（川越RC）

ポール・ハリス・フェロー

岡芹　正美
（本庄RC）

宮前　典子
（鶴ヶ島RC）

三室戸　東光
（川越RC）

寺山　良子
（深谷RC）

米山功労者

17回
宮前　英雄
（皆野・長瀞RC）

10回
鈴木　秀憲
（吹上RC）

9回
馬場　常正
（川越RC）

4回
三室戸　東光
（川越RC）

4回
澤田　修
（川越中央RC）

3回
井上　實
（川越RC）

3回
相原　茂吉
（川越RC）

3回
町田　伊勢男
（川越RC）

3回
飯島　繁文
（川越中央RC）

1回
新井　正一
（熊谷南RC）

1回
西川　孝博
（川越RC）

編集部から

お詫びと訂正:月信２月号新入会員のご紹介の中で、横川様（東松山むさし）のお名前に間違いがありました。正しくは横川堅司様でした。謹んでお詫び申し上げ、訂正致します。

紙面の都合で「ロータリー川柳」はお休み致します。

訃　報

今井　丈夫 様（川越RC）

2012年12月17日、ご逝去されました。謹んで哀悼の意を表し、心からご冥福をお祈り申し上げます。　享年89歳

ロータリー歴：
1980年３月入会（在籍33年）
ＳＡＡ、副会長等

鎌田　良昭様（和光RC）

2013年1月22日、ご逝去されました。謹んで哀悼の意を表し、心からご冥福をお祈り申し上げます。　享年79歳

ロータリー歴：
1979年10月入会（在籍33年）
会長、第２分区代理等

新入会員のご紹介

（羽生RC）

大井　江津子
㈲カメラの大井
代表取締役
（紹介者）渡辺　由紀子

（行田さくらRC）

梁瀬　里司
農　業
（紹介者）半田太・倉持成一郎

（志木柳瀬川RC）

渡邉　雅之
㈲ウイング・ワン
代表取締役
（紹介者）斎藤　敦

（志木RC）

塩野　章
㈲吉津屋
専務取締役
（紹介者）西川武重郎・清水良介

（志木RC）

梅木　勝
新生接骨院
院長
（紹介者）志村武市郎・飯田富夫

（志木RC）

影山　和良
影山歯科
院長
（紹介者）名畑豊文・内山純夫

（志木RC）

末冨　啓道
大東ガス㈱
代表取締役社長
（紹介者）清水良介・神山昌之

（坂戸RC）

渡辺　恭一
坂戸サークルホーム
施設長
（紹介者）関口　守正

（坂戸RC）

関口　記嗣
関口守正建材㈱
代表取締役
（紹介者）木藤　文雄

3・4月のスケジュール

3月			
2	±	第１グループ IM	（東松山市市民活動センター）
9	±	第３グループ IM	（入間市産業文化センター）
16	±	第２回社会奉仕部門セミナー	（さきたま史跡の博物館）
23	±	熊谷ＲＣ 60 周年記念式典	（熊谷：ガーデンパレス）

4月			
20	±	地区大会	（熊谷：ガーデンパレス）
21	日	地区大会	（鴻巣：クレアこうのす）

1月の出席率・会員数報告

	クラブ名	例会数	出席率（%） 当月	通算	会員数（人） 年初（7／1）	1月末現在	1月入会数	1月退会者	本年度入会数	本年度退会者	1月度純増数	本年度純増数	女性会員
第1グループ（11RC）	川越	4	83.3	82.0	86	87	1	0	4	3	1	1	0
	東松山	3	71.7	79.5	33	33	0	0	1	1	0	0	1
	小川	4	80.8	69.8	12	12	0	0	0	0	0	0	1
	坂戸	4	85.4	90.7	25	26	2	0	2	1	2	1	0
	越生毛呂	4	85.0	81.3	26	27	0	0	1	0	0	1	3
	川越小江戸	4	92.9	92.4	14	14	0	0	0	0	0	0	0
	川越西	4	86.5	84.5	15	14	0	0	0	1	0	-1	0
	鶴ヶ島	4	87.0	84.5	26	27	0	0	2	1	0	1	2
	川越中央	3	86.8	87.6	31	34	0	0	3	0	0	3	0
	坂戸さつき	4	72.5	71.3	20	20	0	0	0	0	0	0	4
	東松山むさし	3	93.1	87.2	36	37	0	0	1	0	0	1	4
	小計		84.1	82.8	324	331	3	0	14	7	3	7	15
第2グループ（8RC）	朝霞	4	92.6	93.4	33	33	0	0	0	0	0	0	0
	志木	4	95.5	93.5	49	51	1	0	4	2	1	2	0
	富士見	3	90.4	89.2	49	49	0	0	1	1	0	0	0
	新座	4	89.0	89.5	26	26	0	0	0	0	0	0	2
	和光	3	85.1	84.9	20	18	0	1	0	2	-1	-2	2
	朝霞キャロット	3	100.0	92.3	13	13	0	0	1	1	0	0	0
	志木柳瀬川	4	92.9	92.0	12	13	0	0	1	0	0	1	4
	新座こぶし	4	82.0	84.0	15	14	0	0	0	1	0	-1	2
	小計		90.9	89.9	217	217	1	1	7	7	0	0	10
第3グループ（12RC）	入間	4	80.5	84.1	39	38	0	0	1	2	0	-1	1
	所沢	3	92.5	85.9	59	59	0	1	2	2	-1	0	4
	飯能	4	88.9	91.2	54	54	0	0	0	0	0	0	0
	狭山	3	100.0	100.0	17	17	0	0	0	0	0	0	0
	新所沢	4	84.6	85.8	19	19	0	0	0	0	0	0	1
	日高	4	81.6	81.7	25	25	0	0	1	1	0	0	3
	所沢西	4	90.2	87.0	38	41	3	0	3	0	3	3	1
	新狭山	3	90.8	90.9	23	24	1	0	1	0	1	1	0
	所沢東	4	84.4	84.5	37	38	0	0	2	1	0	1	3
	入間南	4	100.0	97.0	39	39	0	0	1	1	0	0	0
	所沢中央	3	95.9	94.6	37	38	0	0	2	1	0	1	0
	狭山中央	4	82.1	88.6	29	30	0	0	1	0	0	1	4
	小計		89.3	89.3	416	422	4	1	14	8	3	6	17
第4グループ（11RC）	深谷	4	86.0	82.5	57	59	0	0	2	0	0	2	9
	本庄	4	83.5	81.9	73	73	0	0	0	0	0	0	7
	秩父	4	85.6	82.9	50	51	0	0	1	0	0	1	0
	寄居	4	83.3	79.2	38	39	2	0	2	1	2	1	0
	児玉	3	50.0	61.6	9	12	0	0	3	0	0	3	0
	岡部	2	88.0	83.7	18	18	0	0	0	0	0	0	2
	深谷東	3	70.0	71.1	71	77	3	0	6	0	3	6	0
	川本	3	85.0	89.1	11	11	0	0	0	0	0	0	0
	皆野・長瀞	4	87.5	87.4	12	13	0	0	1	0	0	1	1
	本庄南	3	93.0	85.6	20	20	0	0	0	0	0	0	0
	深谷ノース	3	78.1	79.7	33	35	0	0	3	1	0	2	0
	小計		80.9	80.4	392	408	5	0	18	2	5	16	19
第5グループ（10RC）	熊谷	3	82.5	78.1	89	93	0	0	4	0	0	4	3
	行田	4	75.2	76.1	55	55	0	0	1	1	0	0	4
	羽生	4	85.3	78.5	42	41	0	0	1	2	0	-1	4
	加須	4	90.0	83.6	37	35	0	0	0	2	0	-2	1
	熊谷西	2	76.4	71.0	13	12	0	0	0	1	0	-1	0
	行田さくら	4	77.8	77.9	42	44	1	0	2	0	1	2	0
	熊谷東	4	92.2	92.0	31	32	0	0	2	1	0	1	2
	吹上	4	93.8	92.7	12	12	0	0	0	0	0	0	0
	熊谷籠原	4	95.1	91.6	27	27	0	0	0	0	0	0	0
	熊谷南	4	53.9	59.7	25	26	0	0	1	0	0	1	1
	小計		82.2	80.1	373	377	1	0	11	7	1	4	15
52RC	クラブ会員数		85.3	84.4	1722	1755	14	2	64	31	12	33	
	女性会員数				74	76	0	0	5	3	0	2	

生出塚埴輪窯跡群（おいねづかはにわかまあと）

東日本最大級の埴輪窯遺跡

生出塚埴輪窯は埼玉古墳群より南に８ｋｍ元荒川と荒川の間、大宮台地の北端東（鴻巣警察署東）にあり、国宝金象嵌鉄剣を出土した稲荷山古墳を造営した強大な勢力に埴輪を供給するために操業を始めた東日本最大級の埴輪工房でした。５世紀末～６世紀末の約100年間多種多様な埴輪が生産されました。遺構からは埴輪窯跡40基、工房跡２基、粘土採坑跡１カ所、住居跡13軒、工人の墓跡と思われる古墳跡18基が発見されています。二子山古墳、鉄砲山古墳などに埴輪を供給してきたと思われます。

古墳時代後期には埼玉古墳群のみならず、北武蔵、南武蔵、東京湾沿岸にもその製品が運ばれました。将軍山古墳の横穴式石室には千葉県鋸山（のこぎりやま）周辺で採取されたと思われる房州石（ぼうしゅういし）が使用され、古墳構築材など地域間交流が行われていました。また、稲荷山古墳、二子山古墳、鉄砲山古墳は日本最大の大山古墳と相似形ですが、後期の将軍山古墳、中の山古墳は千葉県富津市の内裏塚古墳群の古塚古墳、三条塚古墳、稲荷山古墳と墳丘設計が似ており、物流での協同関係のみならず、同盟関係さえ示唆しますが、７世紀以降ヤマト政権の中央集権化の波に飲み込まれてしまいます。生出塚埴輪窯も6世紀後葉に供給範囲、生産量のピークを迎えますが7世紀には埴輪、古墳を必要としない時代を迎え、操業を停止することとなりました。

しかしながら生出塚埴輪窯は大型の人物埴輪が大きな損壊もなく直立したまま出土したように保存状態もよく、粘土採取から焼成まで窯跡全体の遺構がかつてない規模で発掘されました。2005年には出土品は国の重要文化財に指定されました。

1m30cm前後の頭巾をかぶる貴人埴輪、振り分け髪の貴人埴輪、武人埴輪など見ごたえのある埴輪が4月21日の地区大会会場のクレアこうのす（鴻巣市文化センター）の歴史民俗資料センターに展示してあります。古代の風も感じてみましょう。

埴輪は３体とも130cm前後

表紙写真：副幹事・斎藤　恒（行田さくら）　　写真提供：鴻巣市教育委員会　　文：副幹事・橋本 恭一（行田さくら）

ガバナー月信　第9号

2013年3月1日発行

今月の表紙：

社会奉仕部門委員長 **木藤　文雄**
社会奉仕部門地区事業委員長 **新井　啓介**
社会奉仕部門クラブ支援委員長 **小久保　富夫**

2012－2013年度ガバナー　**鈴木　秀憲**

国際ロータリー第2570地区　地区事務所

〒355-0028　埼玉県東松山市箭弓町２丁目５番14号　紫雲閣３Ｆ

TEL（0493）21－2570　E-mail＝d-office@mail.rid2570.gr.jp

FAX（0493）21－2571　Website＝http://www.rid2570.gr.jp/2012/